

B—57 日本婦人の体型に関する二・三の考察

新潟大教育 〇清水 薫
三重大教育 伊藤 令子
十文字学園女短大 古松 弥生

1. 先に行なった柳沢氏の報告により身体長径・身体周径並びにこれを組み合わせて形成される日本婦人の体型は、地方差・職業差より年齢差が顕著であるという結果を得ているので、今回は同一資料を用いて既婚・未婚別に体型の差異を検討してみた。

2. 資料は1956, 57年に計測した25歳から59歳までの婦人1065人で、研究項目は身長・胴高・袖丈・背丈・前胴丈・胸囲(B.)・胴囲(W.)・腰囲(H.)・頸付根囲・背肩幅の10項目と、これに「H.—W.」, 「B.—W.」の2項目を加え、合計12項目について年齢層別に集計整理を行なった。

3. 年齢層別の既婚・未婚別に検討した結果では、12項目の平均値並びにそれらを組み合わせた体型については、特に差異はみられない。また、各項目の変異係数についても、大きな差異はみられない。